



Information

「NIKKOR Z 50mm f/1.2 S」が「デジタルカメラグランプリ 2021 SUMMER」で
「総合金賞」を受賞

2021年4月30日

S-Line

NIKKOR Z 50mm f/1.2 S



株式会社ニコン(社長:馬立 稔和、東京都港区)の大口径標準単焦点レンズ「NIKKOR Z 50mm f/1.2 S」が、デジタルカメラグランプリ実行委員会が主催する「デジタルカメラグランプリ 2021 SUMMER」において、最高位となる総合金賞を受賞しました。

「NIKKOR Z 50mm f/1.2 S」概要

開放 F 値 1.2 で圧倒的に美しく滑らかなボケを実現する S-Line 最高クラスの光学性能を、静止画でも動画でも堪能できる大口径標準単焦点 AF レンズ

- ・開放 F 値 1.2 の浅い被写界深度を活かした滑らかで美しいボケと極めて高い解像力を両立
- ・絞り機構を中心に、対称型にレンズ群を配置する理想的なレンズ構成により、優れた光学性能を実現
- ・画像の中央、周辺部問わず細部まで忠実に表現する高い解像力
- ・ピント面から遠ざかるにつれてなだらかに変化する美しいボケの連続性と、後ボケの圧倒的な柔らかさを実現。色づきの少ないボケが被写体を一層引き立たせた表現が可能
- ・「ナノクリスタルコート」と「アルネオコート」の採用で、ゴースト、フレアを抑えたクリアな描写
- ・「STM(ステッピングモーター)」を採用した「マルチフォーカス方式」により、静止画、動画を問わず高速・高精度・静粛な AF 駆動
- ・高い防塵・防滴性能※や、電磁絞り機構の採用などによる高い利便性
- ・「レンズ情報パネル」や、「レンズ Fn ボタン」の採用により、快適な撮影をサポート
- ・動画撮影時だけでなく、フォーカスシフト撮影時にも有効なフォーカスブリージングの抑制

※すべての条件で完全な防塵・防滴を保証するものではありません

「NIKKOR Z 50mm f/1.2 S」の「総合金賞」受賞理由

(デジタルカメラグランプリ審査委員長 山田久美夫氏コメント)

「NIKKOR Z 50mm f/1.2 S」は、ニコン Z マウントレンズの中でも特に高い基準を満たした「S-Line」に新たに追加された、大口径標準単焦点 AF レンズです。ニコン自身が“S-Line 最高クラスの光学性能”と謳うのも納得の仕上がりで、緻密で精細ながらも硬くなく、きわめて立体感のある描写。ピント面から背景への滑らかなつながりや、素直で自然なボケなど、やや大柄で重い点は否めませんが、それを補っても余りある素晴らしい画を堪能させてくれます。大口径 Z マウントの真価を見事に具現化した、ニコン Z マウントレンズを代表する逸品です。

デジタルカメラグランプリについて

「デジタルカメラグランプリ」とは、メーカーからエントリーされたデジタルカメラやフォトアクセサリを対象に、写真を“撮る”だけにとどめず“愉しむ”ための優れた製品を選出するデジタルイメージング機器の総合アワードです。年に2回開催され、今回で27回目となります。

「デジタルカメラグランプリ」の概要は以下 URL よりご確認ください。

URL: <https://www.phileweb.com/dgp/about.html>

すべての受賞製品はフリーマガジン「デジタルカメラグランプリ受賞製品お買い物ガイド」に掲載され、販売店などで配布されます。

この件に関する問い合わせ先

株式会社ニコンイメージングジャパン 広報宣伝部
108-6290 東京都港区港南2-15-3 品川インターシティ C棟

甲谷・馬橋
03-6718-3016

株式会社ニコンイメージングジャパンPR事務局

ビルコム株式会社 担当:星・善本・平

TEL:03-5413-2411/FAX:03-5413-2412/Mail: nikon-press@bil.jp

本プレスリリースに掲載されている情報は、発表日現在の情報です。